

平成 31 年度

事業計画書

公益財団法人 板橋区文化・国際交流財団

平成31年度 事業計画 概要

財団は、区と連携して「板橋区文化芸術振興基本計画」及び「板橋区多文化共生まちづくり推進計画」の具現化に向け、地域文化の創造支援と国際相互理解の促進に取り組んでいます。

平成31年度の事業計画では、新たに策定した「経営計画2021」に基づき、安定した財務経営を確立するとともに、板橋の特性を活かした事業展開を図ります。

I 財団経営基本方針

1 定款による財団の目的

「板橋区における地域文化の創造支援と国際相互理解の促進を図るため、区民の文化芸術振興と多文化共生を推進し、もって文化の香り高いまちづくりに寄与する。」

2 財団の事業目標（経営計画 2021）

- ① 心豊かな区民生活の実現とまちの個性と魅力を高めることに貢献します
- ② 区の文化芸術の特性・資源を活かし、区ならではの文化芸術を振興します
- ③ 区民参加型事業の重点化等により、区民主体の文化芸術活動を振興します
- ④ 異なる考え方を持つ人々が交流し暮らしやすく、全ての人の人権を尊重する差別や偏見のない安心で安全なまちづくりに寄与します
- ⑤ 日本語学習の機会を提供し、コミュニケーションを支援します。また、多言語による行政サービスの情報提供や通訳による生活支援をおこないます。
- ⑥ 文化の違いを理解しあう多文化共生の人づくりのための国際交流事業を拡充します。

II 事業概要

【31年度事業数（ ）は30年度事業数】

★：新規事業 ◎：改善・充実事業

1 文化事業

地域における文化芸術の振興を図り、心豊かな区民生活の実現に寄与します。文化芸術へのいざない、担い手育成、次世代育成、活動支援のために、文化講座の開催や発表の機会の提供や支援をおこないます。

(1) 区民参加型事業 【12事業（12事業）】 ←経営戦略1.2

・地域特性を活かした区民主体の文化芸術活動を重点的に振興するため区民参加型事業をおこないます。

・区民主体の質の高い音楽文化を振興するため、財団が設立した板橋区混声合唱団、板橋区吹奏楽団を支援し運営します。

・次世代育成のため、子供を対象として、和太鼓講習会、青少年吹奏楽教室、区民参加ミュージカル、区民文化講座Ⅲチアリーディング講習会をおこないます。

◎区民参加型ミュージカルでは、参加者の増に対応して公演を2部制に増やします。

★区民文化講座Ⅱの内容は、小学生を対象に美術体験講習会とします。

・文化芸術の学びと発表の機会とするため、一般区民を対象として、ふれあいステージ、区民文芸、区民文化講座Ⅰオペラ、第九演奏会をおこないます。

・第九演奏会は、区民の質の高い芸術活動とするために、区民合唱団と国内有数のオーケストラの演奏会としています。

◎ふれあいステージでは、50回記念として、従前からのダイジェスト版に加えてノーカット版舞台録画DVDを作成し参加団体へ配付します。

・文化芸術の担い手を支援するため、演奏の専門家を対象として、クラシックオーディションを行い、合格者が出演する新進音楽家フレッシュコンサートをおこないます。

◎クラシックオーディションでは、合格者の副賞を増額します。

(2) アウトリーチ事業 【アウトリーチ24回（20回）、ロビーコンサート12回（12回）】 ←経営戦略1.2

・身近で文化芸術に触れる機会を増やし楽しみや心の潤いを提供して、文化芸術へいざなうロビーコンサートをおこないます。

◎次世代を育成するとともに、専門家の質の高い芸術を届けるため小学校や福祉施設へアウトリーチをおこないます。実施数を年間20回から24回に増やします。

◎アウトリーチ事業では、法人会とも連携して地域でのアウトリーチもおこないます。

(3) 文化の提供事業 【主催公演7事業（6事業）】 ←経営戦略.2

・地域の文化芸術資源の振興及び次世代の育成に寄与するため、低廉な料金で気軽に楽しめる優れた主催公演をおこないます。

・落語のまち板橋の特性を活かして、板橋落語会、板橋名人寄席をおこないます。

・子供やファミリーを対象に子育て支援にもなる、劇団四季ファミリーミュージカルをおこないます。

★子供やファミリーを対象に「おとうさんといっしょファミリーコンサート」をおこないます。NHK BSプレミアムで放送中の「おとうさんといっしょ」のキャラクター、出演者による楽しいステージショーです。

★若い世代を中心とした区民を対象に「Drum TAOコンサート」をおこないます。日仏両国の交流事業ジャポニズム2018でも紹介・公演されたコンサートです。ダンスとプロジェクション・マッピングで、和太鼓を魅せるショーにしたエンタテインメント集団のコンサートを提供します。

★国内有数の芸術家で板橋区生まれの松原勝也プロデュースによる「室内楽のワンコインコンサート」をおこないます。区内演奏家の育成と心に響くクラシック演奏を区内で普及する活動を目指します。

(4) 文化の提供事業【共催公演20事業（19事業）】 ←経営戦略2

- ・地域の文化芸術の普及に寄与する公演を財団が共催します。
- ・板橋区や教育委員会と共催して、区民文化祭、中学校連合学芸大会、ジュニアプラス交流フェスタ、板橋の芸能、i-youthダンスフェスタをおこないます。
- ・区民文化祭は、区内最大の地域資源である伝統芸能等の文化芸術活動の発表と普及の場として、重点的に支援し共催します。

- ・地域貢献団体と共催して、わんぱく相撲や音楽の絵本コンサートなどをおこないます。
- ・芸術文化の普及に寄与する板橋区民主体の共催公演として、童謡祭や歌声コンサートをおこないます。

- ・芸術文化の普及に寄与する板橋区民主体の公演の中で、クラシック音楽演奏会、板橋太鼓祭り、板橋ジュニア弦楽合奏団、板橋演劇センター、劇団ファンハウスの各公演については、分担金を免除して支援・共催します。

★「板橋ジュニア弦楽合奏団」は「板橋の街角に響くバロック」を目指して立ち上げたジュニアを中心とした弦楽合奏団です。

★「板橋太鼓まつり」は、区内地域資源の一つである和太鼓の団体が集合して隔年で共催実施しています。

- ・低廉な料金で優れた文化芸術を区民に届けて普及するため、童謡祭、歌声コンサート、松原勝也ヴァイオリンリサイタルを共催します。

★子育て支援にもなる親と子を対象とした人気キャラクター「しまじろう」の来場者参加型コンサートを共催します。

(4) 文化の支援、育成、援助及び顕彰事業 ←経営戦略2

- ・文化芸術の振興を図るために、支援や助成を行うとともに、文化・スポーツ活動での顕著な成果に対して顕彰をします。

(5) 広報 ←経営戦略3

- ・多様な文化芸術情報の収集・発信のため、財団の文化・国際交流事業の情報や、文化会館での公演、地域の文化活動事例の紹介を掲載した情報誌の発行等をおこないます。

- ・財団情報誌「ふれあい」を新聞折込や施設・駅に置き配付します。

◎SNSを活用した情報発信を継続するとともに、公演の対象に的を絞った効果的なフェイスブック広告を増やしてより多くの集客を図ります。

★財団HPにおいて、板橋区吹奏楽団などの区内の文化芸術活動や資源の紹介をしています。

★財団の活動を紹介し広く理解を得るため、財団リーフレットを作成します。

2 国際交流事業 ←経営戦略5.6

地域の国際交流や国際理解を促進し、多文化共生の地域づくりに寄与します。

(1) 国際交流事業【11事業（11事業）】

- ・ボランティアと連携・協力して国際交流や国際理解を推進する様々な事業を着実に実施します。
- ・子供の国際理解を進めるため小学校等に出前の国際理解教育をおこないます。
- ・料理やダンスなどを体験する多文化紹介事業をおこないます。
- ・外国人の生活相談を受けるため専門家による相談会を実施します。

- ・在住外国人と日本人が交流し相互理解をするため日本語スピーチ大会をおこないます。
- ・外国人留学生が区内の家庭生活を体験し交流するためホームビジットをおこないます。
- ・災害時に支援できるよう防災語学ボランティアを養成します。

◎日本語教室においては、学習目標を文法理解から日常生活の具体的な場面や課題への対応力を高めることに変更し、カリキュラムを改訂します。また、会話を中心とした新たなコース開催に向けて、試行及び検証をおこないます。

◎外国人相談会においては、無料法律相談の会場を見直し、より相談しやすい体制を検討します。

(2) 姉妹・友好都市提携に基づく事業【5事業（4事業）】

- ・区が姉妹都市提携等を締結する交流都市との区民レベルの交流を推進するため、各種交流事業を実施します。

★バーリントン市姉妹都市提携30周年記念事業として、青少年の経験と視野を広げ、次世代を担う人材育成を推進することを目的に「青少年ホームステイツアー」を実施します。また、バーリントン市民訪問団をホームステイ等で受入れ、区民レベルの交流を促進します。

(3) 助成事業（日本語教室、国際交流事業）

- ・区民レベルでの多文化共生活動を促進するため、日本語教室や国際交流事業を実施する地域団体を助成します。

(4) 広報

- ・国際交流に関する情報を発信するため、外国人向けの行政情報や国際交流イベント等を掲載した情報誌「アイシェフ・ボード」を4言語別に発行しています。

◎「アイシェフボード」をより手に取りやすく見やすいものとするため、4言語併記の冊子に変更し、外国人への情報発信力を強めます。

3 区からの受託事業 ←経営戦略5.6

板橋区から受託して、外国人が日常生活に必要な情報提供や、行政機関への申請・届出等の生活支援の事業をおこないます。

(1) 多言語情報誌の作成

- ・外国人が快適に暮らすために、日常生活に必要な情報を掲載したリーフレットを4か国語で作成します。
- ・転入手続きをする外国人住民に、行政サービスの手続き等を案内する冊子「Welcome to いたばし」を4か国語で作成します。

(2) 通訳・翻訳

- ・外国人が行政手続き等を安心して確実に行うことができるようにするため、窓口での通訳や、申請書等の翻訳をおこないます。

(3) 周年記念誌の作成

- ★姉妹都市との国際交流を図るため、バーリントン市姉妹都市提携30周年の記念誌を作成します。

4 財務強化と特定事業積立 ←経営戦略7

- ・収支均衡が均衡し持続可能な財務経営を図ります。

◎公益事業の収支相償に対応するため、2017年度に生じた黒字分979万円を、平成31年度に赤字になるよう特定事業積立等により支出します。

- ★特定事業積立は700万円として、2020年にボローニャ市との友好都市15周年記念事業、並びに文化オリンピックの一環として、「ボローニャフィルチェンバーコンサート」を開催するためにおこないます。

5 文化オリンピックとしての機運醸成と国際交流の促進 ←経営戦略4

- ★応援プログラムの認証を受けて公演を行い、東京大会2020大会のムーブメントの裾野を広げていきます。

◎外国人や障がい者などすべての人権が尊重されるインクルージョンの考え方を基盤として、誰もが文化芸術を楽しめるよう公演や文化紹介ができる工夫をしていきます。

◎区民文化祭の日本伝統芸能を外国人向けに多言語パンフレットで紹介するなど、文化事業と国際交流事業の連携を進めることで、より効果的な事業展開をめざします。

Ⅲ 区計画に基づく財団事業の推進

1 板橋区文化芸術振興計画 2020 に基づく文化事業の推進

1 文化芸術振興の意義

- ・区民の生活を豊かなものにする
- ・文化芸術による縁を育む地域社会を作る
- ・まちの個性と魅力を高める

2 課題

- (1) 区としての文化イメージの不鮮明さ
 - (2) 地域の文化芸術へのさらなる気づき
 - (3) 有効な周知方法の検討
 - (4) 文化施設のさらなる魅力向上
- (a) 文化芸術に触れる機会と活動のきっかけづくり
- (b) 板橋区の文化芸術を担う人材の育成
- 注：ab は、板橋区文化芸術振興ビジョンより

3 将来像

歴史や伝統を大切にしながら、多様な文化芸術活動が活発に行われ、楽しみ、つなぎ、創造するまち

4 今後の方向性

- ①区ならではの文化芸術振興の推進
- ②代表的文化イメージの絞り込み
- ③ストーリー性を有した周知方法の推進
- ④文化施設のさらなる魅力増進
- ⑤東京オリ・パラに向けた文化芸術事業の推進

【板橋区文化芸術振興ビジョンより補記】

- ①区の文化芸術特性・資源を活かす
- ②区民主体の文化芸術振興
- ③次世代へ継承する

5 重点目標

- ①個性あふれる文化芸術の創造
- ②伝統文化の継承
- ③多様な文化芸術情報収集と発信

【文化・国際交流財団の役割】 板橋区文化芸術振興ビジョン

文化芸術振興の鑑賞機会の充実や人材育成等を行ってきた。これまで以上に牽引役としての機能と事業展開が期待される。

6 施策の展開

(1) 文化芸術の風おこし

多様な特性、資源や人材を活用し、区民の主体的な活動を盛んにしていく
身近なところに文化芸術との接点を生み出し、文化芸術の風を感じるまちづくり

- ①個性あふれる文化芸術の創造
- ②文化芸術へいざなう機会の提供
- ③文化芸術活動を行う場の充実
- ④文化芸術活動の発表の機会充実

(2) 歴史文化の記憶つむぎ

伝統文化や文化財に触れる機会や情報の提供

- ①伝統文化の継承

(3) 文化芸術の育て

担い手である活動を行う人の裾野を広げる、多くの子どもが文化芸術に親しむ

- ①次代の人材育
- ②文化芸術を育てる担い手の育成

(4) 文化芸術の土づくり

・活動場所や文化芸術情報を入手できる。
・文化芸術活動に対する経済的支援、関係者間連携、協働体制の確立

- ①多様な文化芸術情報の収集と発信
- ②文化芸術活動を支える財政支援

財団事業体系

【財団目的】

地域文化の創造支援を図るため文化芸術振興を推進し文化の香り高いまちづくりに寄与

1 区民参加型事業

- ・板橋区混声合唱団、板橋区吹奏楽団
- ・板橋第九演奏会
- ・青少年吹奏楽教室
- ・区民文化講座、習い事はじめ
- ・ふれあいコンサート
- ・クラシックオーデイション・フレッシュコンサート

2 アウトリーチ事業

- ・音楽演奏、落語、大道芸
- ・ロビーコンサート

3 文化の提供事業 主催公演

- ・板橋落語会、名人寄席
- ・子供向けミュージカル等

4 文化の提供事業 共催公演

- ・区民文化祭
- ・クラシック演奏会
- ・板橋の芸能、武者行列
- ・音楽の絵本コンサート

5 文化の支援事業

- ・板橋演劇センター

6 育成、援助、顕彰

- ・助成、顕彰

7 広報

- ・ふれあい、HP、SMS、区広報

2 多文化共生のまちづくり推進計画 2020 に基づく国際交流事業の推進

1 多文化共生推進の意義
 ・異なる考え方を持つ人々と接する中で、多様な交流や新しい活動が生まれて暮らしやすいまちの実現
 ・全ての人の人権を尊重する差別や偏見のない安心で安全なまちづくり

2 課題
 ①多言語化した情報周知や少数言語対応
 ②日本語学習機会の拡充
 ③相談体制の整備と国際理解教の推進
 ④災害に備えた体制整備
 ⑤日本人も含めた多文化共生意識の醸成

3 将来像 「もてなしの心」で言葉や文化のちがいを認め合い、外国人とともに暮らすふれあいと活力のあるまち「板橋」

4 今後の方向性 (☆は重点目標)
 ☆①多言語化推進と関係機関との連携強化
 ②ボランティアによる日本語教室の支援と活用
 ③継続的な相談体制の確立と国際理解教育の改善
 ④防災体制の実態把握と環境整備
 ⑤多文化共生意識醸成のための施策の実施、外国人が社会参画しやすい工夫
 ☆⑥多文化共生まちづくりを担う人材の育成
 ☆⑦東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催を契機とした施策の展開

